



# 社会的養護の普及・啓発および 社会的養護下にある子どもの自立支援事業



## 実施年度

2016年度～継続中

## 主な連携先・メンバー

堺市子ども家庭課／堺市子ども相談所／堺児童養護施設部会／堺市里親支援機関

## 活動地域

大阪府堺市／関西大学堺キャンパス

## 活動の目的

- ・堺市民に対して人間健康学部の実験研究内容の広報を行う。
- ・堺市民に対する社会的養護に関する啓発を行う。
- ・堺における子ども家庭福祉領域の研究に関する関係機関との連携を強化する。
- ・社会的養護下にある子どもの自立の一助となるとともに本学学生の社会的養護への理解を深める。

## 連携にいたる経緯

事業代表者の専門分野である子ども家庭福祉の課題である社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援を堺市の関連機関と連携して推進する。

## 活動内容

- 1 社会的養護に関する公開講座およびワークショップの開催
- 2 里親制度の普及促進を図るためのイベント等の実施
  - ・堺シティマラソンにおいて啓発
  - ・関西大学堺キャンパス祭において啓発
- 3 社会的養護のもとにある子どもの学習支援や自立支援の促進
  - ・社会的養護に関するワーキンググループ
  - ・児童養護施設の子どもの向け体験学習
  - ・学生が施設を訪問して学習指導・スポーツ指導を行う、および、報告・情報共有のための集会
  - ・児童養護施設の子どもの大学を訪問してスポーツ指導を受ける
- 4 社会的養護のもとにある子どもの生活を支援する職員の研修
- 5 社会的養護の現状を伝えるDVD制作の研究会



## 活動の成果

社会的養護の抱える課題などについて、社会に発信していくと共に、人間健康学部の特徴を生かした学習支援やスポーツ指導などは、社会的養護下にある子どもへの一定の支援を届けることができたことと評価することができる。また、公開講座や啓発イベントを通して、地域社会に対する社会的養護の理解を醸成することができた。

## 今後の課題・目標

社会的養護の問題でもとりわけ施設養護における当事者の視点から啓発活動を行った。社会的養育ビジョンが示しているように、里親委託が推進されているが、社会的養護の主な担い手である施設養護のあり方を社会的養護経験者の視点から再検討することができたと考えられるが、社会的養護の課題には、息の長い事業展開が求められている。また、事業の一部については、関係機関との調整がつかず、未実施であったものがある。今後の課題として、事前の調整を密にしていなければならない。

## 教員紹介

人間健康学部准教授 福田 公教 (ふくだ きみのり)

専門は社会福祉学、子ども家庭福祉論。社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援のあり方について研究を進めている。妻とともにぐみほホーム（養育里親）をつとめている。



事業領域

堺市推進事業

子どもの体力・元気力向上の推進

健康づくり・地域福祉の推進

地域協働型事業の推進

まちのぎわいづくり

人間健康学部推進事業

学生の学び力向上

教育研究の地域還元

教員の専門分野・学生活力の活用

